

No.1

## 異業種で働く長男への円滑な事業承継計画の策定

## 〈A社〉

許可業種	電気工事、消防施設、計装工事	売上高(完工高)	60,000 千円
資本金	10,000 千円	従業員数	3 人

【進捗度】支援前の段階:○ 支援後の段階:●

未検討又は重要性理解の段階	現状把握の段階	後継者・承継方法確定の段階	事業承継計画策定の段階	具体的対策実行の段階
○	→		●	

## 1 支援の前

事業承継の背景	・現経営者の高齢、健康不安
後継者	未定
交代予定	5～10 年後
支援に対する期待	・事業承継計画の策定 ・後継者の育成



## 2 支援の概要・今後の展開

担当専門家	平野陽子氏(中小企業診断士)
主な支援内容	・事業承継計画の策定 ・後継者育成の評価項目の策定(資質、リーダーシップ、意欲、関心等) ・資産内容や自社株式の現状把握
後継者	実子(長男が有力候補)
他の専門家等との連携・協力	・いずれ弁護士、税理士、司法書士とも連携する予定。 (株式承継に係る法務、税務等)
課題	・他の相続人の遺留分問題が生じないように、種類株式(議決権制限株式等)を導入するなど定款変更したいが、スムーズにいかない場合が考えられる。(定款変更には株主総会の特別決議(3分の2以上の賛成)が必要) ・建設業特有の要因として、技能者不足により、技能者育成に時間がかかると思われる。
対応策・今後の展開	・今後、事業承継に係る相続法や会社法等に詳しい弁護士に相談を予定している。

### 3 支援を振り返って～担当専門家から一言～

－支援で大変だったこと、うまくいった点・うまくいかなかった点、これだけでも早く実施しておけばよかった点など－

・比較的早い時期にコロナ禍の大きな影響をうけ、事業活動の停滞を余儀なくされてしまい、株主の変更などの打合せのため、関係者が集まって、専門家へ相談することができなくなり、持ち越しとなり、今後の課題といえる。

・その反面、事業承継の後継者が、固まりつつあるなど、一定の支援成果があったと考える。